

囲碁に魅せられ70年

津田沼

囲碁クラブ

日本棋院津田沼支部

NHK学園

碁

1	囲碁に魅せられ70年
2	掲出一覧
3	伝統文化囲碁
4	江戸時代の囲碁の本「國技觀光」(一)(二) 第12世 本因坊丈和 文政9年(1826)
5	江戸時代の囲碁の本「國技觀光」(三)(四) 第12世 本因坊丈和 文政9年(1826)
6	江戸時代の浮世絵「空蟬」 歌川国貞(三代豊国)
7	江戸時代の浮世絵「誠忠義士傳」 歌川国貞(三代豊国)
8	江戸時代の囲碁段附「大日本圍碁段附名人鑑」全国版 嘉永3年(1850)
9	江戸時代の囲碁川柳「柳多留」「万句合」
10	津田沼囲碁クラブ・日本棋院津田沼支部の軌跡
11	津田沼囲碁クラブ・日本棋院津田沼支部の普及事業
12	

伝統文化囲碁

伝統文化囲碁の歴史は長い。舶載は仏教が伝来したとされる奈良時代以前の宣化3年（538）ごろという。これは遣唐使や遣隋使を派遣した時代より古く、およそ千五百年の歴史をもつ。当初は貴族の雅芸として愛され、その後、武家社会へと広まった。大局観を養う囲碁は武将達の嗜みの一つとなり、多くの武将が学ぶようになった。そして、あらゆる階層に普及しだしたのは、群雄が割拠した殺伐とした時代も鎮まり、泰平の世となった江戸時代からである。江戸時代には世相を反映したくさんの庶民文化が開花した。囲碁は江戸初期から始まり幕末まで続いた御城碁が幕府の恒例行事として定着すると、流行にともない裾野を広げ出版物・浮世絵・各種番付・川柳などにも登場するようになった。前掲の4つは順に技術・風俗・普及度・諷刺を伝え、今日、盤側の歴史として囲碁文化を彩る。

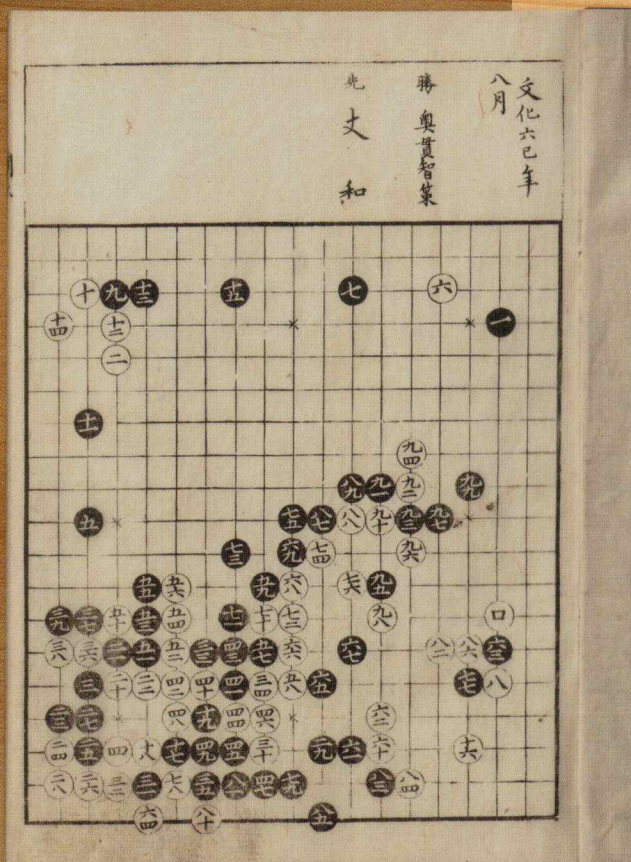
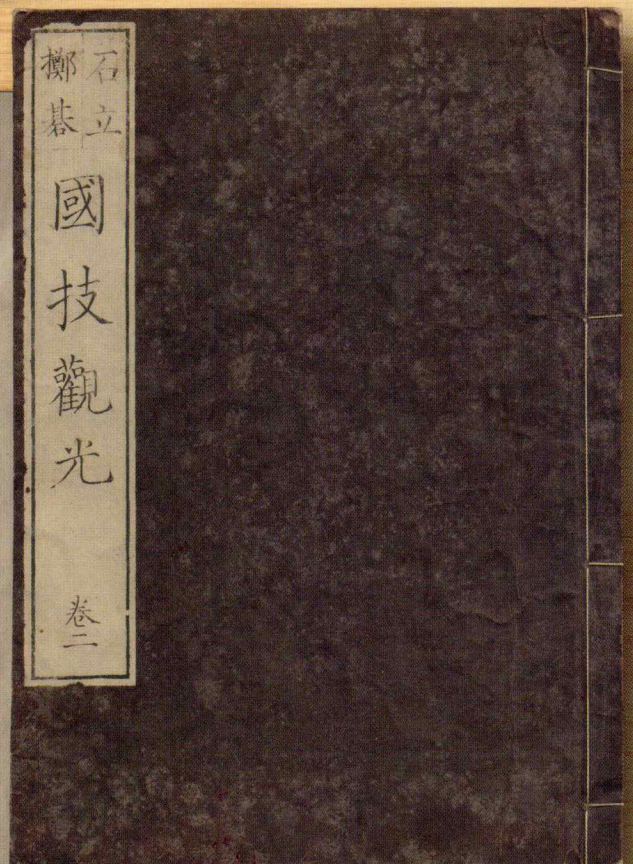
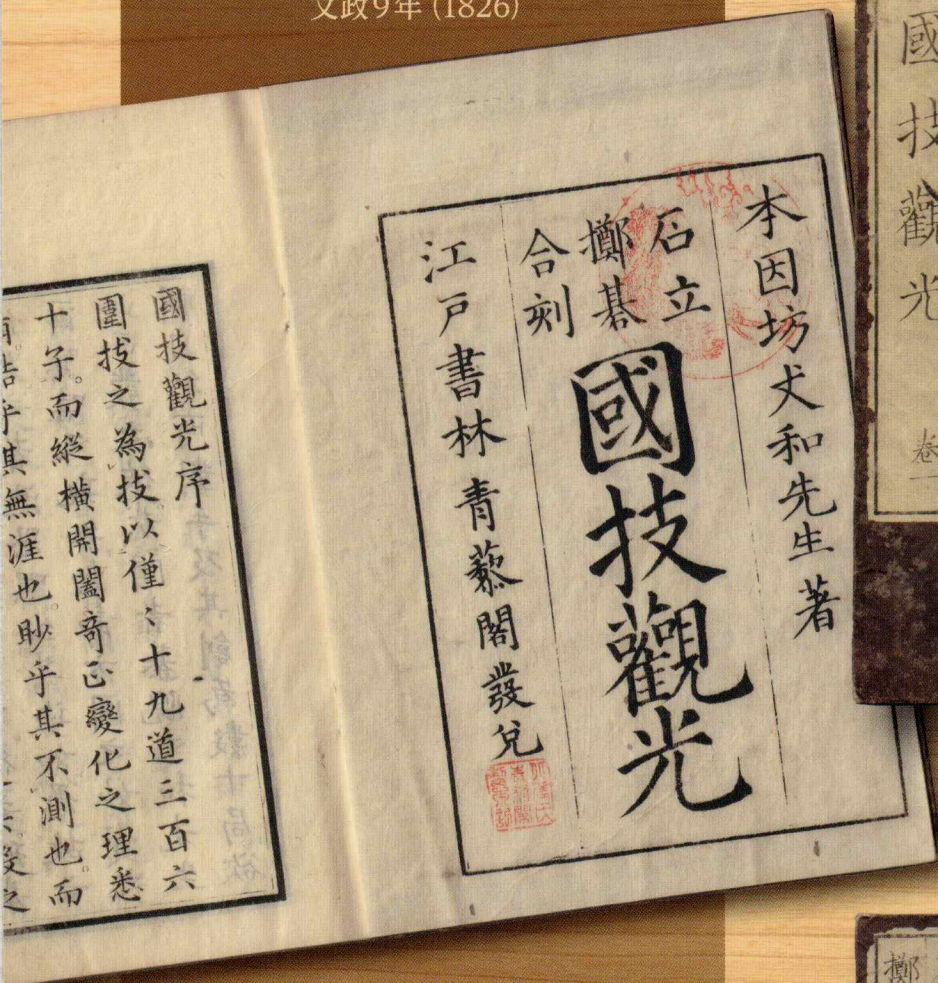
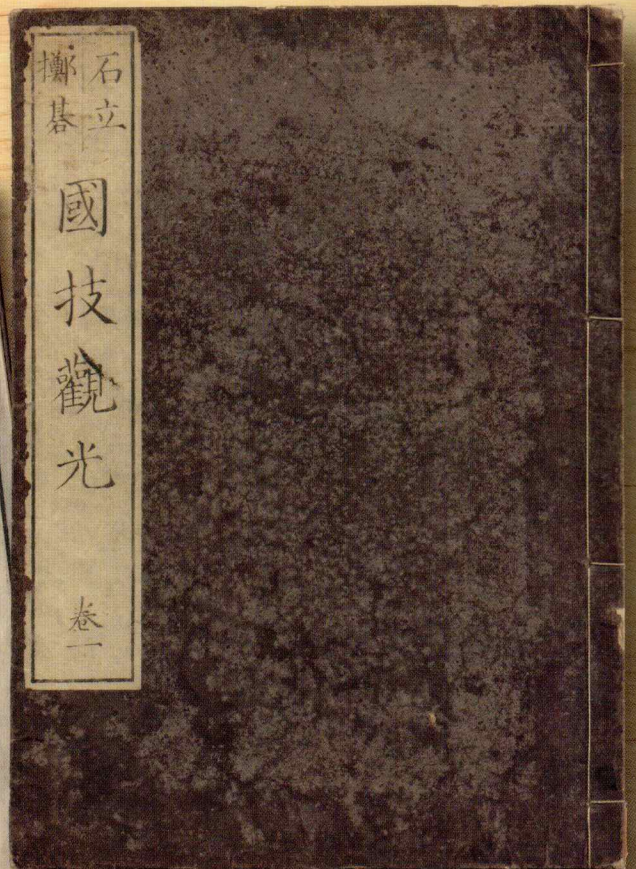


江戸時代の囲碁の本

「國技觀光」

第12世 本因坊丈和

文政9年 (1826)



石立
鄭基

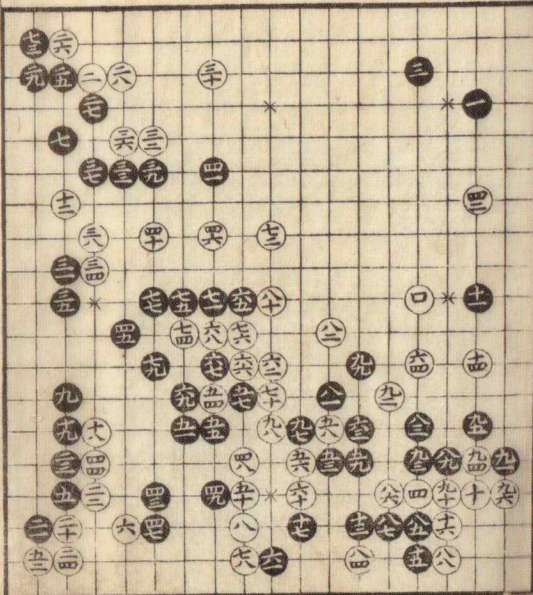
國技觀光

卷三

文化十二年
正月廿七日打
懸同二月二日
市絶

丈和

先番立
微
四目勝



石立
擲基

國技觀光

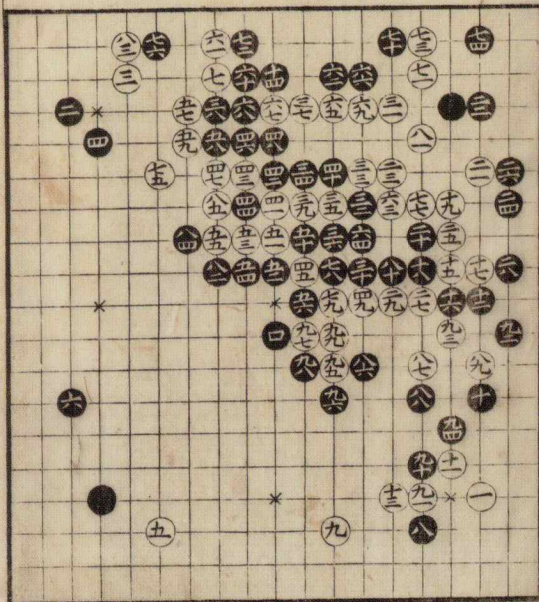
卷四

文化十四年
七月廿九日

中押勝

丈和

二子
齋藤鉄之助



江戸時代の浮世絵

「空蟬」

歌川国貞(三代豊国)



歌川国貞(三代豊国)

二百石

内藏之師に従ふる者
討つたうふ門をのりこえ
居るんまふみ衣兵衛
肝煎の用人酒蔵きつら
とて方預合せ先礼をせ
あふきあふのあふき預目
のけ一刀はきつらきけり

誠忠義士傳

中打相愛

大石瀨左工門信清

七十曲五國筆

田恩長

江戸時代の囲碁川柳

柳多留・万句合

碁敵は 憎さにもくし なつかしさ	柳多留
一ち貳もく 湯治かえりは つよく成	柳多留
大三十日 世間へ義理で 碁を休み	柳多留
天元の 一から開く 智恵の花	万句合
雪の日は 助言のふえる 自身番	万句合
関ヶ原 すてっぺんから おし碁也	柳多留
死水の そばで母おや 碁のいけん	柳多留
打ちだした 石を見ている 雨やどり	万句合
碁仲間は 今日が幾日が くせになり	万句合
茶屋の石 こうが出来ると たらぬ也	柳多留
碁会所で 見てばかりいる つよいやつ	柳多留
碁の助言 いいたくなると 庭へたち	柳多留
玄関番 おれが手だよと きめてたち	柳多留
碁の勝負 殿の後に つよいやつ	万句合
くろ石を たたきちらしに 江戸へ出る	柳多留
ごうまんな つらがにくいと 負けた奴ッ	万句合
角みの石 ようよういきて すいつける	柳多留
くろ石の ごけを引き合い 久しぶり	柳多留
雨やどり 助言をいって おんだされ	万句合
あれにこう 是にこうとて まけたやつ	柳多留
石は生きたが 死にめには あわぬなり	柳多留
いさかいを しいしい碁打 仲が能し	柳多留
殿よりも 一ち目強い 国家老	柳多留
たがい先 定石を打つ 甲斐越後	柳多留
一ばんに うつは紀の国 那智の石	柳多留

津田沼囲碁クラブ・ 日本棋院津田沼支部の

軌跡

移 転

昭和57(1982)年	4月23日	JR津田沼駅北口速水ビル
昭和59(1984)年	12月 2日	JR津田沼駅北口パスタビル
平成12(2000)年	11月15日	JR津田沼駅南口サンペディック(現モリシアビル)

年 譜

昭和57(1982)年	4月23日	津田沼囲碁クラブオープン
	11月15日	日本棋院津田沼支部創設
昭和58(1983)年	5月 1日	津田沼囲碁クラブ 1周年記念大会
昭和59(1984)年	11月11日	第1回千葉県学生名人戦
昭和61(1986)年	10月19日	津田沼支部会員300名突破記念大会
昭和63(1988)年	10月21日	シルクロード囲碁大会 船橋市・西安市
平成 1(1989)年	11月26日	まなびピア 支部会員日本一親善対抗戦
平成 2(1990)年	1月18日	白江治彦プロ多面打ち
平成 4(1992)年	4月30日	つだぬま女性大会10周年記念
平成 7(1995)年	7月30日	阪神大震災救援チャリティー囲碁大会
平成 8(1996)年	3月12日	あなたも囲碁を始めませんか 泉谷政憲プロ
平成 9(1997)年	6月 1日	津田沼支部創設15周年記念対局 榊陽子プロvs大山弘アマ
平成10(1998)年		研究会始まる 李青海プロ
平成11(1999)年	8月29日	納涼大会 森田道博プロ審判長
平成12(2000)年	12月 3日	日本棋院会員囲碁大会(千葉県)
平成18(2006)年	11月19日	高尾紳路 名人本因坊祝賀会
平成23(2011)年	12月 2日	津田沼囲碁クラブ創立30周年記念師走囲碁大会
平成31(2019)年	2月 3日	立川こはる落語会 笠碁ほか
令和 2(2020)年	1月 3日	新春囲碁大会
令和 4(2022)年	1月 3日	新春囲碁大会

津田沼は千葉県北西部に位置する習志野市の中心市街地。JR 総武線や京成電鉄の駅がある交通の要所。東京・千葉・成田の3方面に通じる。JR 津田沼駅は乗降者も多く、周辺には大型店舗、大学、文化施設などが建つ。振り返れば40数年前のこと。開席のため何度も足を運び、この街で頑張ろうと決めた。

津田沼囲碁クラブ・
日本棋院津田沼支部の

普及事業

一般対局

10時～21時

各種囲碁教室

各2時間

入門

初級

中級

上級

初段

高段

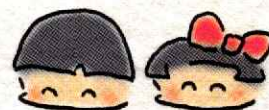
NHK
オープンスクール

指導碁

ヒカルの碁

少年少女

ジュニア



プロ棋士による特別囲碁講座

毎月1回

各種大会

随時



この度、諸般の事情により囲碁クラブを閉めることになりました。閉席にあたり、平素、囲碁クラブを支えていただきました各種囲碁教室の講師、囲碁クラブ運営の女性スタッフ、特別囲碁講座のプロ棋士の皆様方に厚く御礼申し上げます。

私は開席につき次のことを念頭においてきました。それは「明るい」「楽しい」「安らぐ」の三つです。お蔭様で愛棋家に支持され長く続けることができました。私の選んだ道は奥の深い囲碁と出会い、伝統文化と共に歩んだ穏やかな道でした。長い間、本当に有り難うございました。

令和5年1月5日 藤崎 三佐雄

津田沼



日本棋院津田沼支部

NHK学園